



**本市の子どもたちの学力向上**  
白石隆夫  
(新風会)

**質問** 読書で身に付く読解力や思考力は、学力向上の重要な要素と考えるが、本市の読書活動の取り組みは。  
**答弁** 各学校において、子どもたちが読書に慣れ親しむとともに、読解力や思考力の向上につながるよう、朝読書などの計画的な実施や、学校図書館でのブックトークやビブリオバトル等の活動に取り組んでいる。  
**質問** 全国学力・学習状況調査の結果から見る、本市の学力の状況は。  
**答弁** 本年度の調査におい

て、本市は調査対象の全科目の結果が全国平均以上となり、特に中学校の伸びが顕著であった。また併せて行った意識調査では、本市の子どもたちは読書が好きで、読書や学習をする時間、新聞を読む回数が全国平均よりも多いという結果が出ている。これらの結果には、家庭の協力や学校図書館指導員などの存在が大きく寄与しており、それが子どもたちの学力の向上にもつながっていると考えている。



**マイナンバーカードの活用等**  
逆瀬川義久  
(公明党)

**質問** 本市における不在者投票の方法は。また、マイナポータルを活用した不在者投票のオンライン請求を導入する考えは。  
**答弁** 現在、本市では不在者投票の請求手続きを全て郵送で行っている。マイナポータルからの不在者投票のオンライン請求については、一定数の申請

が見込まれ、国のシステムの活用で経費もかからないことから、来年の統一地方選挙からの導入に向けて準備を進め、投票しやすい環境を整えていきたい。  
**質問** 群馬音楽センターの令和4年度の稼働率は。またスロープを設置するなど、施設を改修する考えは。  
**答弁** 本年度の利用実績と



陽性者への聞き取り調査の様子

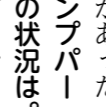


**第7波のコロナ対策**  
伊藤敦博  
旧統一教会問題  
(日本共産党)

**質問** 新型コロナウイルスの第7波における、陽性者や濃厚接触者への本市の対応は。  
**答弁** 医師が新型コロナウイルス感染症と診断した場合、保健所では患者本人から症状や既往歴等を確認し、療養先の決定や入院調整を行っている。軽症の人は自宅療養やホテル療養となり、自宅療養者には県が健康観察を実施している。また、濃厚接触者に対しては、自

不具合が生じそうな箇所の改修をその都度行い、文化芸術活動の場として継続して使用していきたい。

観察を実施している。  
**質問** 市民の安全・安心を担保するため、旧統一教会と一切の関わりを持たないことが必要と考えるが、本市の見解は。  
**答弁** 社会的に問題が指摘されている団体と関わりを持たないことは当然であり、今後も、同団体の関連団体を含め、国や県など情報を共有しながら、全庁的に適切に対応していきたい。



**コロナ禍における本市の催し物**  
時田裕之  
本市のキャンプ場  
(新風会)

**質問** 3年ぶりに開催した高崎まつりにおける感染症対策と、開催の成果は。  
**答弁** みこし渡御や山車巡行では、ルートの短縮や人数制限のほか、PCR検査で陰性だった人のみ参加を可能とするなど、独自の対策を行った。来場者に対しては、見回り隊によるマスクの配布を行い、小まめに手指消毒ができるよう、会場50カ所に消毒液を設置した。これらの対策により、多くの来場者でにぎわい、飲食店や商店街の人からは

コロナ禍にはなかった売り上げだったとの声があった。  
**質問** 観音山キャンプパークのテントサイトの状況は。また利用者のニーズに合わせ、テントサイトの区画サイズを拡張する考えは。  
**答弁** 観音山キャンプパークには、おおむね4メートル四方の区画などの15区画がある。最近のキャンプスタイルの多様化も認識しており、区画サイズの拡大については、利用者の意見を聞きながら研究したい。



**高崎地域の働く者の賃金の動態**  
林恒徳  
(市民クラブ)

**質問** 北関東三県の令和4年の最低賃金の状況は。  
**答弁** 令和4年の最低賃金は、群馬県が昨年より30円引き上げて895円、栃木県が昨年より31円引き上げて913円、茨城県が昨年より32円引き上げて911円となっている。  
**質問** 最低賃金の上昇への市内中小企業の対処方法は。また新町地域では、隣接する埼玉県で働いた方が最低賃金の面でも有利だと感じるが、本市の対策は。  
**答弁** 多くの企業が販路拡

大や情報力の強化などの努力により、収益を上げようとしている様子が確認できている。また新町地域では、商工会を中心とした独自のイベントによって地域経済の活性化や事業者のPRを行っているっており、そのことが人材確保にもつながっている。本市では、中小企業を支援する各種事業に加え、本年度から中小企業就職奨励事業を創設しており、雇用促進につながるこれらの施策の継続も重要と考えている。



**低出生率(トールペーパー)及び家族への支援**  
小野聡子  
(公明党)

**質問** 世界早産児デーの啓発を行う自治体等もあるが、低出生率重児に関する本市の啓発活動は。また、医療的ケア児の保育の現状は。  
**答弁** 本市では、低出生率重児の親と子が集う場を設けており、その参加者や医療機関と認識を共有しながら、早産における課題や負担に対する意識の醸成につ

いて、啓発方法を研究していきたい。また、医療的ケア児の保育については、児童の安全確保や看護師等の人材確保といった課題がある中、現在一部の保育所が受け入れを行っている。  
**質問** 本市で農福連携による就労継続支援B型サービス事業所を設置する意義は。  
**答弁** 障害者農業就労施設



ヤングケアラー SOSの支援



**ヤングケアラーSOS事業**  
青木和也  
都市計画道路の整備状況  
(新風会)

**質問** ヤングケアラーSOS事業の学校への周知は。  
**答弁** 市教育委員会では、各学校の校長等に定例の会議等で説明したほか、教育相談主任等の教員を対象に研修会を開催した。研修会に参加した教員からは、サポーターが行う具体的な支援や対象者の発見方法など、複数の質問が寄せられ、ヤングケアラー支援への理解を深めることができた。

まずは本市が直営で取り組み、将来的にノウハウ等を民間事業者に広げていきたいと考えている。  
**質問** 福島小八木線には未整備区間があるが、渋滞の緩和や通学路の確保のため、整備を進める考えは。  
**答弁** 福島小八木線は、県

道高崎渋川線から県道高崎渋川線バイパスを東西に結ぶ全長870メートルの都市計画道路で、平成3年度までに710メートルの区間の整備が完了した。都市計画道路は市民生活の根幹を支える重要な都市施設であるため、福島小八木線を含めた未整備の区間については、市民生活や経済への影響などを見極めながら、今後の方針を研究したい。



**さらに詳しい内容は会議録で**

市議会ホームページ(会議録検索)や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。

今回の本会議については11月下旬に公開予定です。

- 市民情報センター(市役所1階)
- 高崎市立図書館(中央館及び地域館)
- 倉洲公民館図書室



- 就労継続支援B型サービス事業所
- 8050問題

通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に、就労の機会を提供し、雇用契約を結ばずに生産活動などの就労訓練を行う事業所。

80代の親が50代の子どもの生活を支えている状態の家族が、社会的に孤立してしまう問題。背景には、子どもが自身の病氣や親の介護といった理由で自立できないなどのさまざまな要因がある。

- ビブリオバトル
- マイナポータル

自分のお薦めの本を紹介し合い、その内容を聞き、どの本が読みたくなったかを投票するゲーム的なもの。

国が運営するオンラインサービス。子育てや介護をはじめとする行政手続きの検索や申請機能(ぴったりサービス)などを利用することができる。